

実施計画事業名		子育て推進事業		評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男		
総合計画体系	分野	1	教育・文化				
	政策	1	地域・家庭における教育力の向上				
	施策	2	安全で安心な子育て環境をつくります				
	関連施策						
現状と課題	本市は30年以上にわたり「地域ぐるみの子育て運動」を推進してきたが、核家族化や少子化、地縁的つながりの希薄化など、取り巻く環境が大きく変化する中で、親の家庭教育に対する考え方や取り組みに変化が生じてきている。PTAや町内会が中心となり毎年、地区毎に開催される子どもフェスティバル、スクールガードの活動など、地域ぐるみで子どもの成長を見守る活動が浸透しているものの、親による虐待や子が親を殺害する事件なども発生しており、今後も継続して安全で安心できる子育て環境づくりに取り組む必要がある。						
目的	家庭、学校、地域の様々な人が協力しあい、子どもたちの健やかな成長を地域全体で見守ること						
5ヶ年開の 施策展開	①子育て推進協議会と連携をはかりながら、「子育て平和運動」の啓発を行い、それを具現化するための式典やイベントを開催する。②道の委託事業(学校支援地域本部事業)を活用しながら、学校支援ボランティア(スクールガード)の拡充をはじめ、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを進める。③市が設置する子ども安全育成センターを中心に、青少年の非行を防止するため広報活動、巡回などを行う。④家庭教育に関する意識の啓発、情報・学習機会の提供を図り、親子のふれあい、レクリエーションなどの実践活動を推進する。						
成果指標	名称	単位		21年度	22年度	25年度	
	稚内の子育て提言の認知度	%	目標	70.0	75.0	80.0	
説明	「稚内子育て提言」を知っている、読んだことがある(保護者アンケート)		実績	76.0	78.0		
活動指標	名称	単位		21年度	22年度	25年度	
	学校支援ボランティアの登録数	人	目標	787	790	800	
	説明	学校支援地域本部事業に参加するボランティア(スクールガード)の数		実績	783	765	
	各地区の子育て運動事業への参加者数	人	目標	7,720	7,740	7,800	
	説明	次の各事業の参加者の合計(各地区子育てフェスティバル、教育講演会、子育て日事業、子育て全市交流会)		実績	7,092	7,450	
	街頭育成補導活動の実施状況	人(延べ参加者数)	目標	211	211	211	
	説明	特別街頭育成補導への延べ参加者数		実績	161	182	
不審者情報メール登録者数	人	目標	620	640	700		
説明	不審者情報メール登録者数(年度内最終)		実績	623	684		
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)	千円	8,170	9,180	8,972		
	国庫支出金	千円	0	0			
	道支出金	千円	1,027	0			
	起債	千円	0	0			
	その他	千円	0	0			
	一般財源	千円	7,143	9,180	8,972		
	この事業にかかる職員数	人/年	0.82	0.81	0.81		
人件費(B)	千円	5,679	5,501	5,501			
計(A+B)	千円	13,849	14,681	14,473			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 稚内市の子育て運動30年の土台の上に、平成21年度から新たな積み上げを学校・家庭・地域の連携のもと進めていく。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> スクールガード、地域、学校が連携し、子ども達の安全・安心環境を築いていることは、地域住民にとって大変期待され、また、必要度の高い事業となっていることから、学校、地域と一層の連携協働を図りながら、効率的な事業運営を推進していく。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>b</b>	コスト効率	<b>a</b>
総合評価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 不審者情報メールの利用付加価値を高めることによって、利用拡大を図ること。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--